

「Japan Mobility Show Bizweek 2026」出展のお知らせ

～日本での事業拡大およびグローバルパートナーシップの発掘、モビリティ事業の競争力強化～

株式会社ロッテホールディングス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：玉塚元一、以下「ロッテホールディングス」）は、日韓を中心としグローバルに事業を展開しているロッテグループが 10 月 13 日から 16 日まで、千葉県幕張メッセで開催される「Japan Mobility Show Bizweek 2026」に出展することをお知らせいたします。



会期中はロッテグループから、化学およびエネルギー素材事業を担うロッテケミカル株式会社、ロッテインフラセル株式会社、ロッテエナジーマテリアルズ株式会社をはじめ、ロッティノバート株式会社、ロッテグローバルロジス株式会社、ロッテレンタル株式会社が参加します。出展ブースでは次世代モビリティ素材から AI・自動運転、スマート物流、モビリティサービスに至るまで、グループの中核事業を紹介いたします。

ロッテグループは昨年開催された「Japan Mobility Show 2025」で、環境に優しいエネルギーを基盤とした未来のモビリティ・バリューチェーンとグループの技術力を紹介いたしました。今年の Bizweek ではこれをさらに発展させ、各グループ会社の技術とビジネスモデルを軸に、日本をはじめとするグローバル企業とのパートナーシップを拡大し、未来のモビリティ分野において新たな成長機会を継続的に創出していくことに焦点を当てています。

【出展ブースと展示内容について】

次世代モビリティを牽引する高機能素材・バッテリー技術を紹介

ロッテケミカル、ロッテインフラセル、ロッテエナジーマテリアルズは、「Advanced Material Solutions for Future Mobility」をテーマに、次世代モビリティに向けた高機能素材ソリューションとバッテリーの中核素材を紹介いたします。

ロッテケミカルが製造する難燃性が高く、軽量なリサイクル素材や無塗装デザイン素材から、ロッテインフラセルとロッテエナジーマテリアルズの EV 電池用正極箔・コーティング箔・銅箔などの EV バッテリー中核素材まで多角的なポートフォリオを展示いたします。

未来のモビリティ産業における素材革新を牽引するトータルソリューションパートナーとして、皆さまとのグローバルな共創機会を広げてまいります。

AI・自動運転技術に基づく未来のモビリティサービスの拡大

ロッテイノバートは、自動運転モビリティサービスをはじめ、Vision AI スマートトーリング^{*1}、C-ITS^{*2}に基づく道路・車両連携インフラ、AI スマートシティソリューションを統合展示し、車両と道路、都市のデータを結びつける未来のモビリティビジョンを展示します。特に、江陵（カンナン）・済州（チェジュ）・慶州（キョンジュ）など韓国の主要観光地において、運転席のない自動運転シャトル「MUVU（ムーヴ）」を5年以上運用し蓄積した、実際の道路での運行・管制・予約・安全管理のノウハウを軸に、人や物の移動を支援する自動運転サービスの事業化の可能性を紹介いたします。

また、生成 AI ベースの映像認識技術を活用した高速道路スマートトーリング、車両・道路インフラ・歩行者がリアルタイムで交通および危険情報を共有する C-ITS、都市の交通運営と移動サービス・安全管理を統合する AI スマートシティを通じ、インフラとサービスを網羅する統合モビリティ事業者として、新たな価値創出に向けたグローバルな協業を目指してまいります。

環境配慮・無人化・自動化技術による未来の物流システムの構築

ロッテグローバルロジスは、環境配慮・無人化・自動化技術を実際の物流現場に導入した未来の物流システムを展示いたします。

現在、ロッテグローバルロジスは、水素トラックによる輸送や自動運転トラック、自動積み下ろし技術などを通じて、環境配慮・無人化・自動化を基盤とした未来の物流システムの構築を推進しております。最新技術を実際の物流現場に適用することで、輸送の効率化と物流競争力を高め、未来のモビリティ技術と物流運営を結びつける総合物流企業としての最新の取り組みを紹介いたします。

日本・沖縄レンタカー市場に進出、モビリティサービス事業を拡大

ロッテレンタルは、独自の短期レンタカー運営モデルの提案とともに、日本沖縄市場への参入について紹介いたします。

沖縄の高いレンタカー需要と外国人訪問客の特性を考慮した、現地での参入方針およびサービスの競争力を紹介いたします。特に、予約から車両の受け取り・返却まで、お客様の待ち時間と運営スタッフの負担を最小限に抑えられる「セルフチェックイン」や「無人キーボックス」といった、デジタル基盤の短期レンタカーサービスモデルを重点的に展示する予定です。

単なるレンタカー事業者にとどまらず、他の現地事業者様も導入できる無人化・デジタル基盤の効率的なレンタカー運営ソリューションを提案し、沖縄を第一歩として今後の短期レンタカーサービスの海外事業展開の可能性を紹介いたします。

^{*1}Vision AI スマートトーリング…AI カメラで走行車両を自動識別し決済する料金システム。

^{*2}C-ITS…車両同士や道路と相互通信し、交通情報を共有するシステム。

【Japan Mobility Show Bizweek 2026 概要】

●会期：10月13日(火)～10月16日(金) 10:00～17:00

●会場：幕張メッセ 国際展示場 展示ホール 2・3

(住所：〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1)

※ロッテグループ出展ブース：Zone2

詳しくは以下の「Japan Mobility Show Bizweek 2026」公式 HP をご覧ください。

<https://www.japan-mobility-show.com/>

【出展企業と展示内容について】

出展企業	展示内容
ロッテケミカル	自動車の内装・外装に用いるリサイクル素材や無塗装デザイン素材
ロッテインフラセル	EV バッテリー中核素材（正極箔・コーティング箔）
ロッテエナジーマテリアルズ	EV バッテリー中核素材（銅箔・回路箔）
ロッテインノバート	自動運転シャトル モビリティインフラ技術（Vision AI スマートオーリング、C-ITS など）
ロッテグローバルロジス	自動運転トラックなどによる物流システム 水素トラック
ロッテレンタル	短期レンタカー運営モデル

【株式会社ロッテホールディングスについて】 (<https://lotte-hd.com/>)

中核事業である菓子・アイス領域をはじめとし、プロ野球球団の運営、不動産、ファイナンス、CVC、ホテル、ヘルスケアなどの事業を展開しています。今後は食品事業のさらなるイノベーションに加え、日本と韓国の事業シーズを掛け合わせたビジネス創出に向けて、果敢にチャレンジしてまいります。

ロッテグループは 1948 年に日本（東京）でチューインガムの製造・販売を開始。現在は、日本と韓国に本社機能を持ち、世界約 35 の国と地域で食品、流通、金融、バイオ医薬、ヘルスケア、データセンター、ホテル/リゾート、エンターテインメント、建設などの領域でビジネスを展開しています。わたしたちは「Lifetime Value Creator」をグループ統一のビジョンとして掲げ、人々のライフサイクルのすべてにおいて価値を提供し続けてまいります。